

平成26年度ユニバーサルデザイン（UD）教育の取組

1	学校名	唐津市立納所小学校			
2	所在地	唐津市肥前町納所丁682番地			
3	校長名	太田 公治			
4	学級数	6学級	5	実施学年	3年
	児童生徒数	99人		児童生徒数	13人

6 取組のねらい

ユニバーサルデザインとは何かを理解し、世界中のみんなが使いやすく、健やかに生活していくために様々な工夫がされていることを知り、ユニバーサルデザインに関心を持つことができるようにする。

7 取組の実際



2回に分けてユニバーサルデザインに対する理解を深める授業を行った。1回目の授業では、導入時にシャンプーとリンスの容器の違いを調べさせ、ユニバーサルデザインの言葉の意味を教え、企業のホームページを使い、身近にあるユニバーサルデザインを知る活動をした。展開ではワークシートを用い、ユニバーサルデザインとそうでないものの違いを考えさせた。まとめには感想を交流した。

2回目の授業では、電子黒板で画像を見せ、家の中と町の中のユニバーサルデザインを探そうという活動をした。子ども達に電子黒板を操作させ、説明させたことで、身近なユニバーサルデザインの工夫に気付くことができた。展開としては、トイレや自動販売機のユニバーサルデザインとそうでないものの違いを考えさせ、子どもや高齢者だけでなく、ケガをした人や体に不自由な部分がある人に優しい工夫がしてあることに気付くことができた。まとめでは、「ユニバーサルデザインはみんなに優しく、使いやすい工夫がたくさん考えられているんだな。」という感想を持つことができた。

8 取組の成果と課題

児童向けのホームページを使うことで、子どもたちが自らユニバーサルデザインを説明することができ関心が高まった。導入が長くなり、ワークシートを用いて比較もしたが、時間が足りなかったため、内容と活動のバランスを考える必要がある。しかし、時間は要したが、子どもたちが関心をもって学習を行うことができる。